

## 【成績評価基準】

成績評価 各授業科目の評価は、その科目の授業担当者が行う。成績は、A・B・C の評価が与えられる。 A・Bが合格、Cが不合格です。

A：その科目についての評価項目が基準を超えて優秀である

B：その科目について望ましい基準に達している

C：その科目について単位を認める基準に達していない

不可：その科目を受講していない（欠席等）

- (1) 評価方法 各科目担当は学年終了時に評価をつける。ただし実技教科については作品ごとに評価をし最終的に学年終了時に評価を決める。評価は A,B,C の3段階評価とし、C評価は当該科目不合格とする。基本的には絶対評価です。
- (2) 基準点はAが90点以上Bが70点以上Cはそれ以下とする。
- (3) Cが付いた科目については、補習課題または追試験を与え、合格基準を満たすと進級可能となります
- (4) Cがついた科目について補習課題または追試験が不合格となる
- (5) 成績評価は決められた方法で行います。成績の評価は、講義科目については、科目担当教員が確認テスト、検定取得状態、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価しています。実習科目については作品の完成度及び受講状況によって評価しています。
- (6) それぞれの科目の受講状況（出席率）が補習を含めて3分の2以下になった場合は留年となる。
- (7) 精神的な理由、家庭の理由等で登校という形が困難な場合は、オンライン及び通信指導としてをし、受講状況を確保する
- (8) 成績管理においては履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出する

### 【出席時数】

- (1) 出席は時数計算とする
- (2) 15分以上遅刻した場合はその時間は欠課となる

### 【進級・卒業基準】

- (1) 出席時数が2/3（70%）以上であること
- (2) Cがつく科目について補習課題または追試験に合格していること
- (3) 成績分布において65点以下は留年となる
- (4) 洋裁技能検定において2年生は【中級】・ファッションスペシャリスト学科は【上級】を必須検定とする
- (5) 専門士の取得基準は出席率80%